

## まちづくりチャレンジ協働事業報告書

協働事業の名称	大人も子どもも体験学習		
団体名	チームSou	実施場所	えにあす・夢創館
担当課	教育委員会 社会教育課		

協働事業の実施状況 ※いつ、どこで、なにを、どうしたか記入してください。	<p><b>【SDGs 地方創生】ワークショップ</b></p> <p>■開催日時</p> <p>①6月24日水曜日 18時～21時</p> <p>②8月4日火曜日 10時～13時</p> <p>■開催場所</p> <p>緑と語らいの広場 えにあす（恵庭市緑町2丁目1番1号）</p> <p>①1階 会議室1</p> <p>②2階 クッキングスタジオ</p> <p>■講師：アイリンク SSLO 代表</p> <p>SDGs de 地方創生 公認ファシリテーター：北口浩之氏</p> <p>■定員：各回 10名（最小遂行人数6名）</p> <p>参加対象：高校生以上</p> <p>参加費：22歳以下の学生無料、一般 1,000円(通常 3,000円)</p> <p>①参加者4名、メンバー参加4名</p> <p>②参加者7名、社会教育課2名、メンバー1名</p> <p><b>【木育×音楽プロジェクト】</b></p> <p>■開催日時：10月24日土曜日</p> <p>■開催場所：夢創館</p> <p>■講師：長崎結美氏、竹内亜希子氏（ママアンサンブルあにも）</p> <p>■サポーター：北海道文教大学 吹奏楽部</p> <p>■定員：15家族（大人と子どもペアで1組）</p> <p>参加費：お一人500円（楽器キット代金、ウッドブロック or マラカス）</p> <p>参加者：13組（大人15人・子ども18人）</p> <p>メンバー大人6人子ども8人</p>
---	--

<p>協働事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容の成果</li> <li>・ 協働で取り組んだことの効果 等</li> </ul>	<p>団体の成果</p> <p>【SDGs 地方創生ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs に興味を持って頂くことが出来た。</li> <li>・ 何か出来ることを、始めるきっかけに繋がった。</li> <li>・ カードゲームからは、地方創生に必要な資源が、偏ってはいけないこと、地域での事業開催は、タイミングも大切であることを、学んで頂くことが出来た。</li> <li>・ 最も重要なのは、パートナーシップである事に気づくことが出来た。</li> </ul> <p>【木育×音楽プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師の長崎先生のご協力で、道庁 FB、北海道の mokuiku（木育）ページ・メールマガジンで、周知協力して頂くことが出来ました。恵庭の取り組み、事業を、多くの方に知って頂く機会に繋がりました。</li> <li>・ 大人も子どもも楽しんで、事業に参加していたと思います。帰り際に、たくさんの方に「楽しかった」と感想を頂きました。</li> <li>・ 楽器作りは、普段使えないのこぎりや、紙やすり、電気ペンなどを使い、大人も夢中になって楽しんでいました。</li> <li>・ 子どもの参加者は、異年齢で交流を深めることが出来ていたと思います。</li> <li>・ 木の音色、木の香りを感じられる楽器を、親子でコミュニケーションをとりながら作れたこと、作った楽器で、本物の音色を体験できたことが、本事業の目的と成果に繋がったと思います。</li> <li>・ 参加できなかった方から、また企画して欲しいと要望を頂いています。</li> </ul> <p>どちらの事業も、目的の達成に繋がる、効果が得られたと感じます。</p> <p>協働で取り組むことにより、市民の方に、事業へ関心を持って頂く事が出来る。担当課の皆さんが、準備、周知、運営と事業全体に、大変協力的であったことが、目的達成の効果に繋がったと思います。</p>
	<p>担当課の成果</p> <p>【SDGs 地方創生ワークショップ】</p> <p>SDGs に取り組むことは、それ自体が生涯学習となりえるものですが、内容を知らない方も多い状況です。今回の取組により、市民が</p>

	<p>SDGsに触れ、知り、取組むきっかけとなり、生涯学習の推進とまちづくり・地域の活性化につながっていくものと感じました。</p> <p>また、課職員も参加することで、今年度策定中の生涯学習基本計画に、SDGsの視点を取り入れることができました。</p> <p>【木育×音楽プロジェクト】</p> <p>親子で木に触れ、楽器をつくり、演奏することで、親子でふれあい、話す時間をつくることができ、また、子どもの感性を伸ばす取組みになりました。</p> <p>高学年の子どもが運営を手伝い、低学年・幼児の子どもを気遣う場面もあり、子どもの自主性や思いやる心を育てる機会にもなりました。</p> <p>恵庭市は森林が多いまちであり、木育により、ふるさとを考えるきっかけにもなったと感じます。</p> <p>【協働の効果等】</p> <p>市民団体との協働により、そのネットワークから、多様な講師と幅広い人材が参加することができました。</p>
<p>協働事業の実施時における役割分担</p>	<p>団体の役割 企画、周知、運営、講師やサポーターとの調整、会場設営、後片付け</p> <hr/> <p>担当課の役割 事業の周知、運営サポート、会場設営、後片付け</p>
<p>次年度以降の見通しと課題</p>	<p>団体として</p> <p>SDGsについて、まだまだ知らない方が多い様です。2030年までに達成すべき、目標と考えると、次年度以降もSDGsに関わる事業開催の継続は大切だと考えます。特に今回の事業「大人も子どもも体験学習」での、時間内にSDGsを伝えるのが難しかったと思いましたので、次回はもっと工夫をしたいと思います。SDGsについて、には、行政には担当課を設置するなどして、取り組んで頂きたい課題だと感じました。</p> <p>また、子どもと大人の、コミュニケーションの場、地域コミュニティの場を、事業開催を通して、作り深めることで、住みよい街づくりに繋がっていくと考えます。</p> <p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フライヤー作成時に、参加費の記載の仕方を分かり易く。</li> </ul> <p>(木育×音楽プロジェクトで、楽器キット代金=参加費でしたので、</p>

	<p>参加者が混乱してしまっていた。キットの受け渡し方法も、注意が必要でした。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に余裕がなく、時間配分に関しても注意が必要でした。</li> </ul> <p>団体として、今後も、まちづくりに寄与する多くの事業を企画運営したいと考えていますが、1 団体 1 事業申請が、事業内容を決める際の課題です。事業費のやりくりも課題と考えています。</p>
	<p>担当課として</p> <p>【SDGs 地方創生ワークショップ】</p> <p>SDGs は、まだまだ浸透していない部分があるため、楽しみながら学べるこの取組みは、知っていただくために継続して行うことも効果的だと思います。</p> <p>開催する場合は、周知に工夫が必要と考えます。</p> <p>【木育×音楽プロジェクト】</p> <p>恵庭の木や森林について伝える機会があっても良かったと思います。</p> <p>道具が少なく作業待ちの人が出たことや、時間が押してしまったので、企画段階から道具の確認や時間配分を詰める必要があります。</p> <p>多くの方々の協力により、参加者から楽しかったと喜んでいただけましたので、今後については、主催団体と検討していきたいと考えます。</p>
	<p>共通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業当日、団体スタッフや、担当課が誰なのか分かり易いような工夫が必要。</li> </ul>

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

\*自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

4…できた（非常にあった）

3…概ねできた（あった）

2…あまりできなかった（あまりなかった）

1…ほとんどできなかった（ほとんどなかった）

項目	評価者	評価	1や2の場合、その理由
課題や目的を共有することができたか	団体	4	
	担当課	4	
目的は達成できたか	団体	3	
	担当課	3	
計画どおり進めることができたか (事業費、実施体制、自主自立性等)	団体	3	
	担当課	3	
市民ニーズは反映されたか (不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等)	団体	3	
	担当課	4	
互いの役割分担はしっかりできたか	団体	4	
	担当課	4	
協働で事業実施をした効果があったか	団体	4	
	担当課	4	

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称： 大人も子どもも体験学習

1 収 入

(単位：円)

項 目	金 額		説 明 (積算等)
	予算	決算	
補助金	100,000	100,000	まちチャレ補助金
参加費	20,000	11,000	SDGs 地方創生カードゲーム 6/24 1,000 ×4 名・8/4 1,000×7 名
参加費	10,000	24,500	楽器作りワークショップ 500×49 名
負担金	0	30,097	チーム Sou
合 計	130,000	165,597	

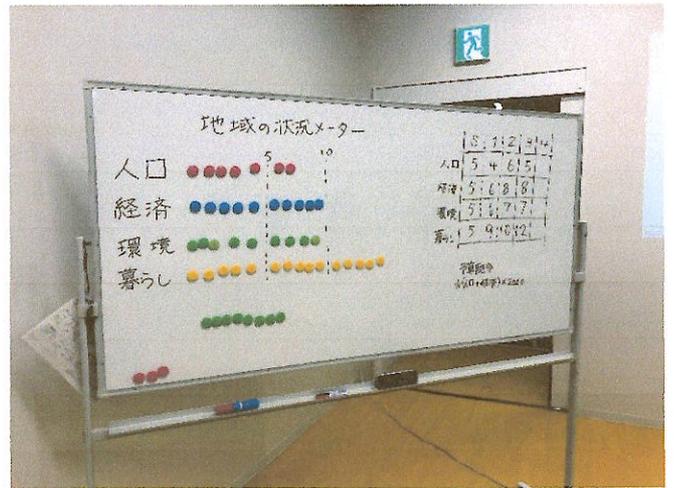
2 支 出

(単位：円)

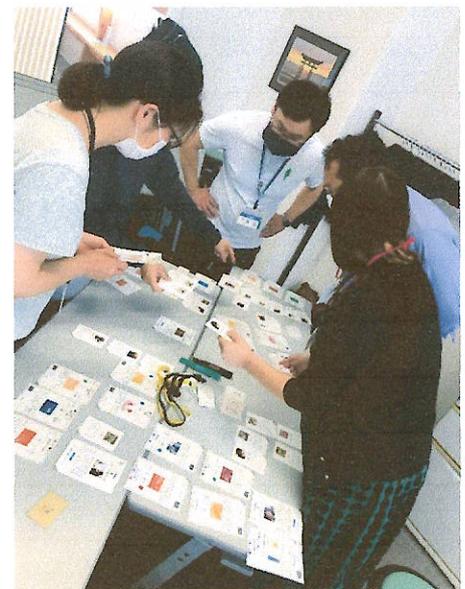
項 目	金 額		説 明 (積算等)
	予算	決算	
謝金	40,000	65,050	SDGs 地方創生カードゲーム公認ファシリテ ーター 北口浩之氏 (交通費含む) 6/24・ 8/4
謝金	20,000	20,000	木育×音楽プロジェクト 講師：長崎結美氏
謝金	15,000	15,000	音楽プロジェクトサポート ママアンサンブル「あにも」(オーボエ奏者 竹内亜希子氏)
印刷費	38,500	30,745	チラシ、ポスター デザイン・印刷
施設使用料	5,000	6,800	6/24・8/4 えにあず、10/24 夢創館
消耗品	11,500	28,002	ネームシール代 (598 円) 軍手代 (2,904 円) 楽器作成キット (500 円 ×49 個=24,500 円参加費として長崎先生 に支払)
合 計	130,000	165,597	

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。

SDGs 地方創生ワークショップ 6月24日



SDGs 地方創生ワークショップ 8月4日



SDGs 地方創生

問い1

まずは、ゲームを終えた感想を語り合しましょう。

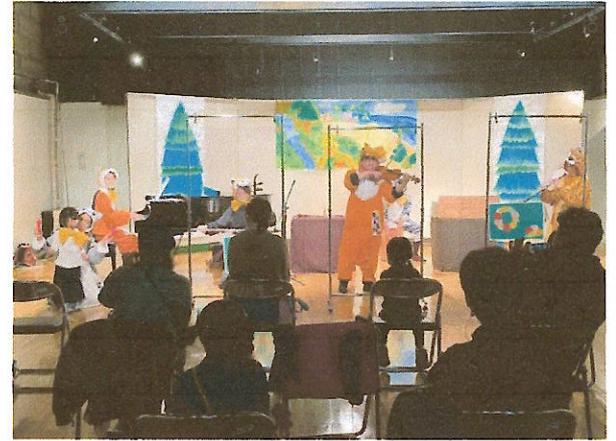
※視点の例

- ・自分（チーム）のゴールは達成できたか？
- ・地域の状況メーターはどうなっているか？
- ・良かった点、更に良い結果を出すには？
- ・現実の社会で起きていること・起きそうなことは？

達成したプロジェクトを眺めながらシェアしましょう

50

大人も子どもも体験楽習 10月24日



このまちの未来をカードゲームでシミュレーション

対話 と 協働 が持続可能な地域をつくる

# 「SDGs de 地方創生」 ワークショップ

「SDGs de 地方創生」は、カードゲームを通じて、SDGs の考え方を地域活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、考えるためのツールです。

開催日時

① 6月24日(水曜日) 18時~21時

② 8月4日(火曜日) 10時~13時

※①・② 同じ内容です

開催場所

緑と語らいの広場 えにあす

(恵庭市緑町2丁目1番1号)

① 1階 会議室1

② 2階 キッチンスタジオ

参加費

各回 **1,000円** 定員 各回 **10名**

(通常3,000円)

講師

アイリンクSSLO代表

SDGs de 地方創生 公認ファシリテーター

**北口 浩之氏**



お申し込み・お問い合わせ連絡先  
チームSou 代表 石上一美

TEL.080-4044-8313  
teamsou2@gmail.com



※SDGs とは、国連の持続可能な開発目標です。

主催:チームSou

協働:恵庭市 教育委員会 社会教育課

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 大人も子どもも体験楽習

～木育×音楽プロジェクト～



2020年

10/24

土曜日

時間 10時～12時

場所 夢創館 恵庭市島松仲町1丁目  
2番20号

参加費 お一人500円  
(楽器キット代金として)

定員 15家族 (大人と子どものペアで1組)

## タイムスケジュール

9時30分～ 受付開始

10時00分～10時30分

あにもによるオープニングコンサート

10時30分～11時30分

長崎先生と木育×音楽体験  
「楽器を作ろう!」

※手作り楽器は、白樺と朴を使用します。

11時30分～12時00分

作った楽器で演奏しよう!

## 長崎結美先生 プロフィール



国立音楽大学音楽学部器楽科  
(ピアノ)国立音楽大学卒業、同大  
大学院修了(クロイツァー賞受賞)。  
パリ・エコールノルマル音楽院で  
演奏ディプロム取得。帰国後は定  
期的にリサイタルを開催する他、  
「0才からのコンサート」、「子ども  
の森の音楽会」等の親子で楽しむ  
コンサートの制作を行う。  
2017年より「木育×音楽プロジェ  
クト」を主宰。北海道認定木育マイ  
スターとして、木育の普及に努め  
ている。現在、帯広大谷短期大学  
専任講師。

## ママアンサンブルあにも



0歳から生の演奏を聴く機会を作りたいという想いから結成された、子育て真っ最  
中のママで構成されるアンサンブルグループ。  
オーボエや二胡、ピアノや打楽器などの様々な楽器やユーモアを取り入れて楽し  
い時間をお届けいたします。

サポーター:北海道文教大学吹奏楽部

お申し込み連絡先

TEL.080-4044-8313  
teamsou2@gmail.com



チームSou 代表  
石上一美

